

第24回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和52年9月21日（水） 午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 静止気象衛星（GMS）の打上げ結果の評価について
4. 資料
 - 委24-1 第23回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委24-2 静止気象衛星（GMS）の打上げ結果の評価について（案）

委24-1

第23回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨

1. 日時 昭和52年9月14日（水）午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 静止気象衛星（GMS）の打上げ結果について
4. 資料
 - 委23-1 第22回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委23-2 静止気象衛星「ひまわり」の打上げ及び追跡管制結果の概要

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	網 島 毅
“ 委員	吉 識 雅 夫
“ “	八 藤 東 福
“ “	斎 藤 成 文
説明者	
宇宙開発事業団副理事長	松 浦 陽 恵
気象庁気象衛星センター所長	小 平 信 彦
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	園 山 重 道
“ 長官官房参事官	佐 伯 宗 治
通商産業省機械情報産業局次長	水野上 晃 幸
	（代理：角田）
運輸省大臣官房参事官	沼 越 達 也
	（“ ：上田）

気象庁総務部長

高 井 重 寿

（“ ：高谷）

海上保安庁総務部長

鈴 木 登

（“ ：佐藤）

郵政省電波監理局審議官

門 田 博

（“ ：九里）

建設省大臣官房技術参事官

北 野 章

（“ ：馬場）

気象庁総務部

矢 田 昭

“

高 橋 昭

郵政省電波監理局

金 子 和 臣

宇宙開発事業団システム計画部

平 野 睦 弘

“

上 田 義 矩

“

渡 辺 和 夫

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

伊 藤 栄 一

“

宇宙開発課長

雨 村 博 光他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第22回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 静止気象衛星（GMS）の打上げ結果について

宇宙開発事業団の松浦陽恵副理事長及び気象庁気象衛星センターの小平信彦所長から資料委23-2に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

網島：衛星のスピン軸の傾きの影響はコンピュータで補正できる
のか。

小平：傾きが一定ならば、理論的にはできる。

吉識：傾きは変化しているのか。

松浦：今のところはほとんど変化していない。

網島：気象庁としては補正しなくても気象業務に差し支えないか。

小平：いずれは補正が必要と考えている。

委24-2

静止気象衛星（GMS）の打上げ結果
の評価について（案）

昭和52年9月21日
宇宙開発委員会
決 定

静止気象衛星（GMS）の打上げ結果を評価するため、次により調査審議を行うものとする。

1. 宇宙開発事業団が行った「静止気象衛星（GMS）の打上げ及び追跡管制」の結果を評価するために必要な技術的事項について調査審議を行う。
2. 1の調査審議は技術部会において行い、昭和52年12月末までに終わることを目途とする。